

市町村名		栗国村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①		環境美化促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)	
	担当部署名	経済課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容		村内を訪れる観光客の満足度の向上に向けて、観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を実施する。					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,600	12,375	11,996	33,097	26,410
		(b) 予算現額	6,684	8,475	11,996	21,271	25,097
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,916	▲ 3,900	0	▲ 11,826	▲ 1,313
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	6,684	8,475	11,996	21,271	25,097
	B. 執行済額		6,684	7,266	10,747	20,156	18,649
	うち交付金充当額		5,347	5,813	8,598	16,124	14,918
	次年度繰越額		—	—	—	—	—
	執行率(%) (B/A)		100.0%	85.7%	89.6%	94.8%	74.3%
予算の状況の説明		当初計画どおり観光地5箇所、アクセス道路13路線の清掃美化作業を実施したものの、退職者の発生に伴う人員不足や悪天候に伴う作業中止により、不用(6,448千円)が発生した。予算の一部は、他事業における増額へ流用(1,313千円)した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	・美化・緑化活動の実施 観光地:5箇所 アクセス道路:13路線	目標	()	()	()	()	
		実績	観光地:5箇所 アクセス道路: 13路線	観光地:5箇所 アクセス道路: 13路線	観光地:5箇所 アクセス道路: 13路線	観光地:5箇所 アクセス道路: 13路線	
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	村内を訪れる観光客の満足度向上に向けて、観光地5箇所(大正池、ウーグ、東ヤマトウガー、ヤヒジャ、洞寺公園)及びアクセス道路13路線において美化・緑化活動を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(70%)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		94%	94%	83%	
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	観光客へ本事業の美化・緑化活動についてアンケートしたところ、「観光スポットについて良かった」との回答が83%となり、目標を達成した。						

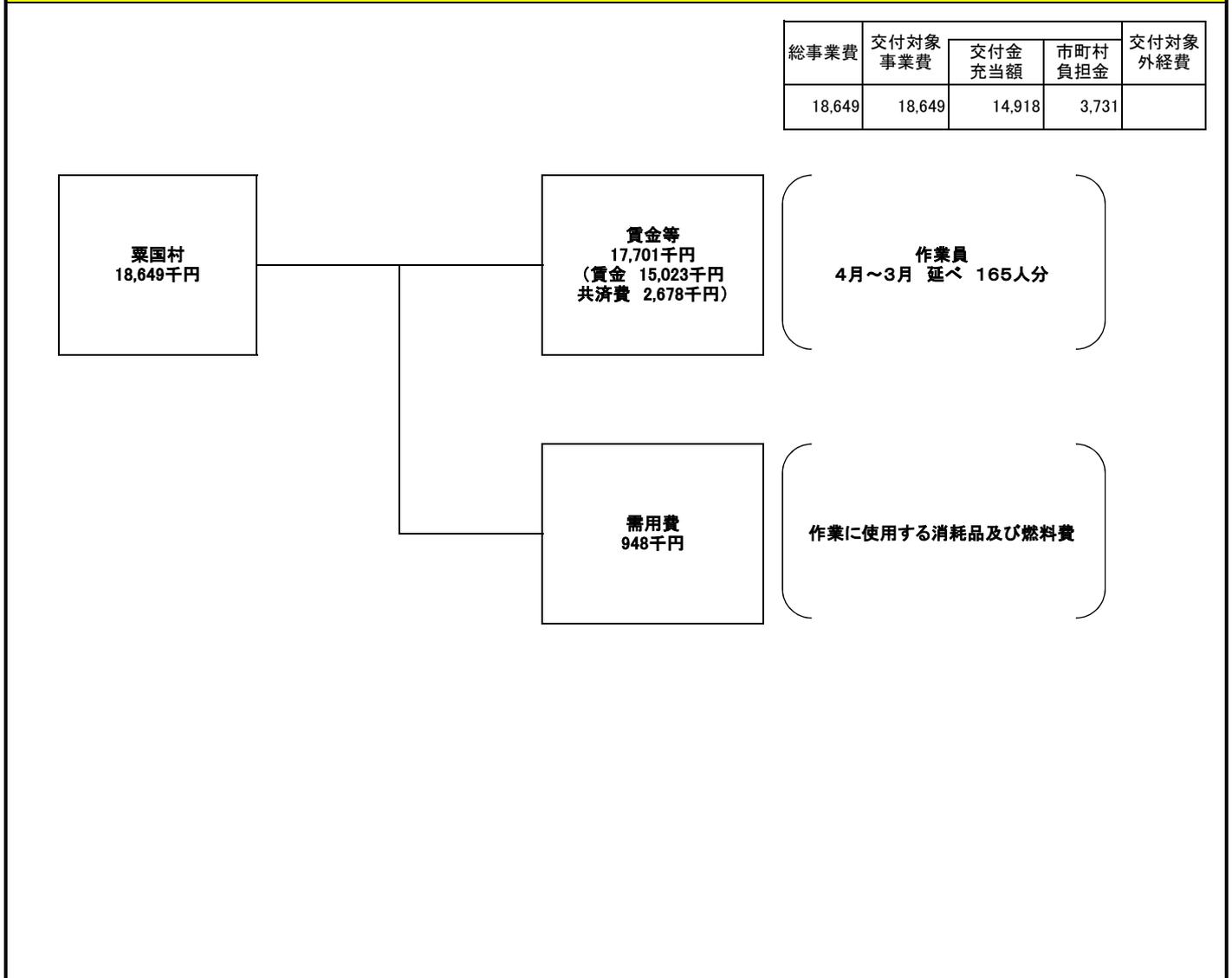
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(作業員の確保) ・退職者の発生により、必要な作業員数を確保できない期間があったことから、年間を通じた人員確保が課題である。	(作業員の確保) ・作業員の確保に向けて、村内に広く周知する方法を検討する必要がある。
	(不用額) ・不用額の割合が高かった(約26%)ことから、予算執行状況の把握と積極的な予算流用に努めることが求められている。	(不用額) ・不用の縮減に向けた取り組みを検討する必要がある。

今後の取り組み方針

(作業員の確保)
・作業員の確保については、広報誌や村内放送および掲示板での募集告知を広く行い、人員確保に努める。

(不用額)
・不用の縮減に向けて、予算執行状況を随時把握し、不用が生じる場合には予算を減額・流用するなど適切に対応する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、賃金職員を村規程に基づき採用し、妥当であった。 ○人員不足や悪天候の影響があり、不用額が約26%となった。 ○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	栗国村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	景観計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ア)	
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	平成28~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立		
事業内容	景観計画に基づいた、住民にわかりやすい景観むらづくりガイドラインを作成し、自然や歴史等風景を生かした魅力的な健康地としての景観形成を図るため、住民にわかりやすいガイドラインを作成する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,913	7,310	4,420		
		(b)予算現額	5,594	7,128	5,724		
		(c)増減額(b-a)	▲319	▲182	1,304		
		(d)繰越額	—	—	—		
		A.計(b+d)	5,594	7,128	5,724		
		B.執行済額	5,594	7,128	5,724		
		うち交付金充当額	4,475	5,702	4,579		
		次年度繰越額	0	0	0		
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	当初計画どおりの委託業務を進めるにあたり、見積を徴収したところ、費用の増額が必要となったことから、予算を増額(1,304千円)した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	景観むらづくりガイドラインの作成	目標	(景観むらづくりガイドラインの作成)	()	()	()	
		実績	景観むらづくりガイドラインの作成				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	自然や歴史等風景を生かした魅力的な健康地としての景観形成を図るため、景観むらづくりガイドラインを作成し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R1年度)
	景観むらづくりガイドラインの作成完了	目標	()	(ガイドラインの作成完了)	()	()	()
		実績		ガイドラインの作成完了			
		目標					(80%以上)
進捗状況説明	景観計画に基づいた、住民にわかりやすい景観むらづくりガイドラインの作成を完了し、目標を達成した。						

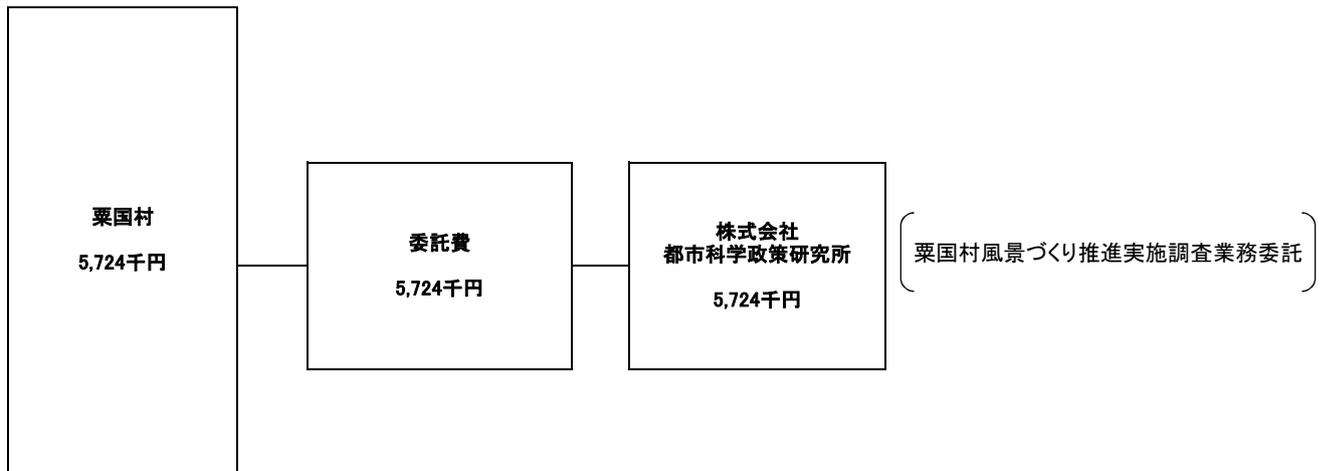
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(景観施策の推奨) 景観施策を推進するため、景観条例を制定することが求められる。	(景観施策の推奨) 景観計画、景観ガイドラインを基に住民への周知を図りつつ、景観条例の制定し、景観施策の推進に必要な取り組みを進める必要がある。

今後の取り組み方針

(景観施策の推奨)
景観行政団体となる旨の法廷協議を沖縄県と行い、景観行政団体へ移行し景観施策(景観条例の制定)の推進を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,724	5,724	4,579	1,145	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算の増額が生じたものの、予算規模は適正なものであった。 ○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		粟国村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	粟国村「ア」のくにつくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	平成26~28年度、平成30~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		15,120	26,676	24,707		19,128
			15,120	26,676	24,700		19,128
			0	0	▲7		0
			—	—	—		0
			15,120	26,676	24,700		19,128
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		15,120	25,233	24,700		18,885
			12,096	20,186	19,760		15,108
			0	0	0		0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	94.6%	100.0%		98.7%
予算の状況の説明	不用額の243千円については、委託の入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	イベント開催:1回	目標	(粟国島「ア」の国まつり開催1回)	(粟国島「ア」の国まつり開催1回)	()	(イベント開催1回)	
		実績	粟国島「ア」の国まつり開催1回	粟国島「ア」の国まつり開催1回		イベント開催1回	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	地域の伝統芸能の保存継承と観光誘客を図るイベントとして、粟国島「ア」の国まつり(村内団体による芸能、ゲストラライブ、カラオケ大会、打上花火)を1回開催(8月24日)し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	粟国島芸能:演舞者:12人 (むんじゆる節、むんじゆる太鼓、マースヤー、エイサー)	目標	()	(12人)	()	()	()
		実績		13人			
	イベント来場観光客数:60人/日	目標	()	(60人)	()	()	()
		実績		66人			
進捗状況説明	・粟国島芸能(むんじゆる節、むんじゆる太鼓、マースヤー、エイサー)の演舞者は13人であり、目標を達成した。 ・イベントに来場した観光客数は66人となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(観光誘客) ・イベントに会場した観光客数の目標は達成したものの、航空機の運休が続いており、島への交通手段に課題があることから、今後の観光誘客に懸念がある。	(観光誘客) ・村と観光協会が連携し、粟国島の認知度や魅力を高める取り組みを継続的にを行い、観光誘客を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
(観光誘客) ・地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国島の認知度を高めるためのPRを展開しつつ、魅力的なイベントや体験メニューを増やすことで、今後の観光誘客につなげる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
18,885	18,885	15,108	3,777	0
<pre> graph LR A[粟国村 18,885千円] --> B[委託料 18,885千円] B --> C[株式会社 アカネクリエーション 18,885千円] subgraph Note D[粟国村「ア」の国づくり推進事業委託業務] end </pre>				

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は公募型プロポーザル方式により、企業組織・実績・知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、3社見積に基づいて適正に積算を行っている。 ○費用・使途について事業目的達成の観点から、必要なものなのか等について額の確定において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		栗国村				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-①	国際交流支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア
担当部課名	教育委員会		事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)
事業内容	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	1,805	2,906	2,906	2,847
	(b) 予算現額	1,805	2,906	2,906	2,857	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	10	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)	1,805	2,906	2,906	2,857	
	B. 執行済額	1,508	2,695	2,825	2,857	
	うち交付金充当額	1,340	2,156	2,260	2,285	
	次年度繰越額	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	83.5%	92.7%	97.2%	100.0%	
予算の状況の説明	若干の増額(10千円)が生じたものの、当初計画どおりに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	海外ホームステイ生徒派遣	目標	(3名)	(5名)	(5名)	(5名)
		実績	3名	5名	5名	5名
	報告書作成	目標	()	(20部)	(20部)	(20部)
実績			20部	20部	20部	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 派遣予定者5名に対し、6名の応募があり、筆記試験、面接による選考を行い、上位5名を7月下旬から8月中旬にかけてアメリカ合衆国カリフォルニア州ローダイへ派遣した。 帰国後、報告書の作成のうえ、村内行事において成果報告を行った。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
		目標	()	(80%以上)	()	()
	実績		100%			
	目標	()	()	()	()	()
実績						
進捗状況説明	帰国後、派遣された生徒の保護者へアンケートしたところ、「派遣された生徒の国際的な視野が広まった」との回答が100%となり、目標を達成した。					

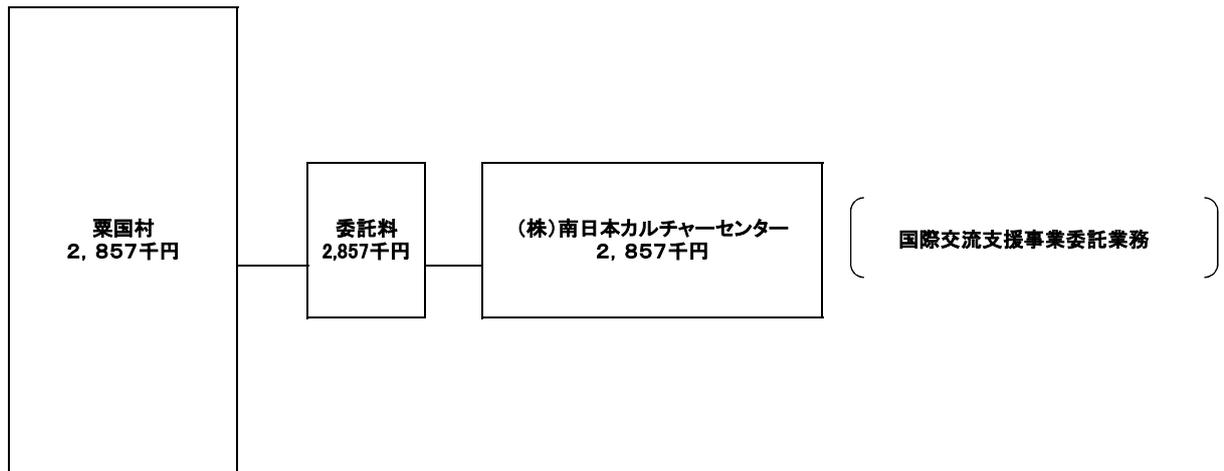
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(外国語の学習) 外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材の育成に向けて、より多くの村内中学生に国際交流の機会を与えることが課題である。	(外国語の学習) 村内中高生が外国語での国際交流に接する機会について検討する必要がある。

今後の取り組み方針

(外国語の学習)
豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、生きた外国語に触れることができる国際交流プログラムなどの創出を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,857	2,857	2,285	572	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、賃金職員を村規程に基づき採用し、妥当であった。 ○不用は発生しておらず、予算規模は適正であった。 ○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		栗国村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②		学力向上支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
	担当部課名	教育委員会		事業実施(予定)年度		平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所
事業内容		島内の児童生徒の学習環境の充実及び児童生徒の学力向上を図るため、村内に村営塾を設置する。					Ⅲ-3-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	18,688	4,565	4,217	11,041	
		(b) 予算現額	13,688	3,858	4,217	11,041	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 5,000	▲ 707	0	0	
		(d) 繰越額	—	—	—	—	
		A. 計(b+d)	13,688	3,858	4,217	11,041	
		B. 執行済額	10,744	2,971	1,896	7,797	
		うち交付金充当額	8,595	2,377	1,516	6,237	
		次年度繰越額	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	78.5%	77.0%	45.0%	70.6%	
予算の状況の説明		当初計画よりも契約に時間を要したことにより業務期間が短縮となったことや悪天候のために講師が来島できないこと等があり、不用(3,244千円)が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	平成30年4月~平成31年3月まで、月平均160コマの村営塾の実施	目標	(月平均160コマ)	()	()	()	
		実績	月平均68コマ				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	平成30年6月から平成31年3月までの期間、月平均68コマの村営塾を実施したものの、悪天候のため講師が来島できない場合や児童・生徒の大会派遣等と重なる場合があり、村営塾の実施コマ数は目標に届かなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:5ポイント 中学校:5ポイント	目標	()	(小学校5ポイント 中学校5ポイント)	()	()	()
		実績		小学校+3.90ポイント 中学校+2.75ポイント			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査での正答率は、小学校及び中学校ともに県平均を上回ったものの、目標の5ポイント以上には届かなかった。 ・小学校平均+3.90ポイント(県との差) (内訳:小5・国語+4.4、小5算数6.5、小5理+3.8、小6算数+0.9) ・中学校平均+2.75ポイント(県との差) (内訳:中1・数学-4.9、中2数学-3.4、中2社会-2.1、中2理科+3.4、中2国語+4.3、中2英語+19.2)						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(小学生の受講) ・昨年度は小学生を受講対象外としていたが、保護者からの要望があり、今年度は小学5・6年生も対象とした。	(小学生の受講) ・児童生徒のさらなる学力向上を図るためには、小学校低学年向けの学習塾の開講の必要性について、調査する必要がある。
	(学習塾の実施期間) ・業務の契約に時間を要したことから、学習塾の開講に遅れが生じた。	(学習塾の実施期間) ・速やかに業務の契約を締結できるように事務手続きを見直す必要がある。

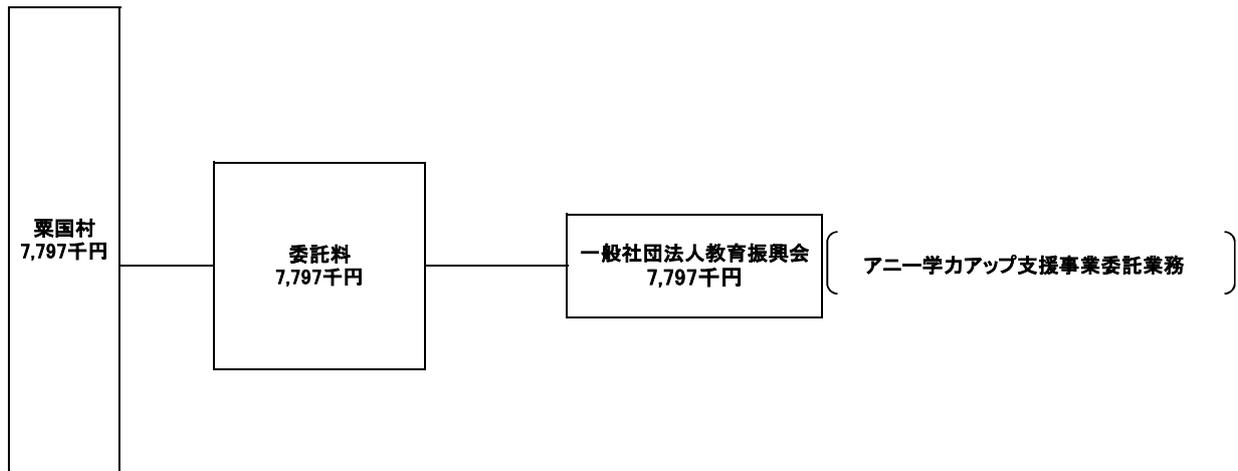
今後の取り組み方針

(小学生の受講)
・小学校低学年の保護者に対する学習塾の需要調査なども踏まえ、児童生徒のさらなる学力向上を目指し、学習塾対象者の拡大を検討する。

(学習塾の実施期間)
・速やかに業務の契約を締結できるように事務手続きを見直し、学習塾の早期開講に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,797	7,797	6,237	1,560	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定されており、妥当であった。 ○精算による減額が生じ、不用額が約29%となった。 ○費用、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認適正であった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		栗国村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③		児童・生徒派遣支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
	担当部課名	教育委員会		事業実施(予定)年度		平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所
事業内容		島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。					Ⅲ-3-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a)当初予算額	8,673	4,151	5,319	3,626	
	(b)予算現額	8,673	1,911	3,019	3,626		
	(c)増減額(b-a)	0	▲2,240	▲2,300	0		
	(d)繰越額	—	—	—	—		
	A.計(b+d)	8,673	1,911	3,019	3,626		
	B.執行済額	1,048	1,756	2,228	2,343		
	うち交付金充当額	838	1,405	1,783	1,874		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	12.1%	91.9%	73.8%	64.6%		
予算の状況の説明		島外派遣の費用が想定よりも少なかったことやフェリーの欠航などにより、不用(1,283千円)が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	児童生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援	目標	(支援)	(支援)	(支援)	()	
		実績	支援実施	支援実施	支援実施		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		例年スポーツ及び文化面では優秀な成績を収めており、今年度も同様に優秀な成績を収めた。 悪天候等によりフェリー欠航で参加できない大会もあったが、バドミントン大会、リコーダーコンテスト、交流学习といったスポーツ・文化教育活動に係る派遣が実施できた。 平成28年度支援実施人数・・・146名 平成29年度支援実施人数・・・195名 平成30年度支援実施人数・・・165名					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績		100%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明		派遣された児童生徒の保護者へアンケートしたところ、「対象児童生徒の視野が広がった」との問いに肯定的な回答が100%となり、目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(大会への参加不可) ・悪天候によるフェリーの欠航により、派遣予定の大会に参加できない場合がある。	(大会への参加不可) ・悪天候が予想される場合は、前倒しで出発するなどの対応ができるか学校及びPTAで迅速に協議し、可能な限り島外で開催される大会等への参加機会が確保されるよう配慮する必要がある。
	(不用額) ・不用額の割合が高かった(約35%)ことから、予算執行状況の把握と積極的な予算流用に努めることが求められている。	(不用額) ・不用の縮減に向けた取り組みを検討する必要がある。

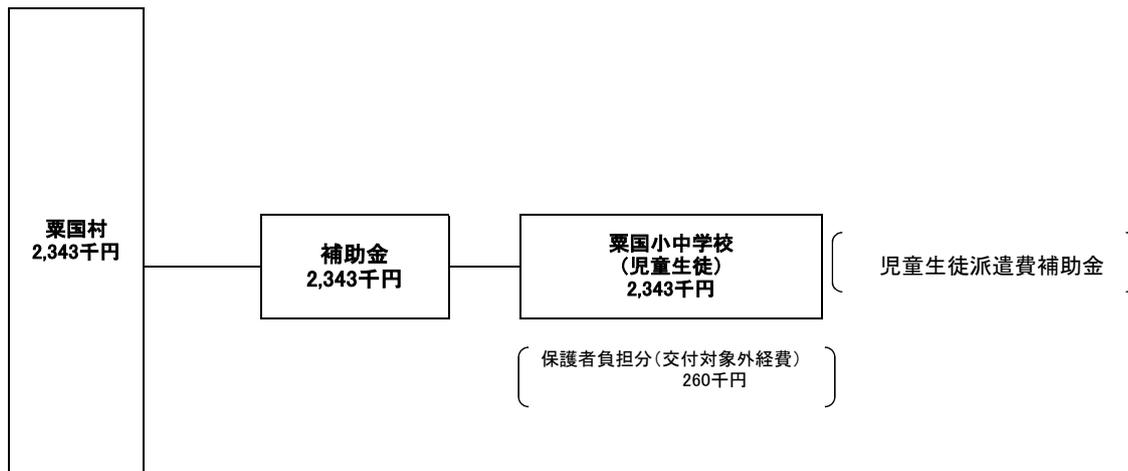
今後の取り組み方針

(大会への参加不可)
・参加予定の大会等に児童生徒を可能な限り派遣できるように天候に留意しながら対応する。また、飛行機の運航が再開された場合は、飛行機の利用も可能となるように検討する。

(不用額)
・不用の縮減に向けて、予算執行状況を随時把握し、不用が生じる場合には予算を減額・流用するなど適切に対応する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,603	2,343	1,874	469	260



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき、粟国小中学校を通して児童・生徒に間接的に補助する形態であり、妥当である。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○実績が想定を下回ったこと等により、不用額が約35%となった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づいて保護者から一律の負担となっており、妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき支給していることや派遣費の使途については精算時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。

市町村名		粟国村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コスト低減	
事業内容	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から粟国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		3,113	4,571	4,421		
			3,113	4,571	4,421		
			0	0	0		
			—	—	—		
			3,113	4,571	4,421		
	B. 執行済額		2,698	3,969	3,720		
	うち交付金充当額		2,159	3,174	2,975		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		86.7%	86.8%	84.1%		
予算の状況の説明		平成30年4月1日~平成31年3月20日の間の食品・日用品輸送経費の実績により補助額の確定を行った。701千円は精算額の残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援		目標 (輸送経費及び作業経費の支援)	(輸送経費及び作業経費の支援)	(輸送経費及び作業経費の支援)	()	
			実績	7月より輸送経費及び作業経費の支援実施完了	輸送経費及び作業経費の支援実施	輸送経費及び作業経費の支援実施	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		平成30年4月に登録事業者の決定を行い、4月1日の輸送経費及び作業経費から支援を実施し、目標を達成した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差-8.1ポイント以下		目標	() (132以下)	(132以下)	(124.1以下)	()
			実績	124.1	122.0	122.0	
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明		登録している3事業者の商品(食品・日用品)輸送経費を平成28年7月から補助開始。この補助額に応じて各事業者が商品販売額の値引きを行った結果、沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(那覇市を100とした場合の指数)が、平成27年9月は132.2だったのに対し、本事業開始後の平成28年12月には124.1、平成29年12月には122.0と、10.2ポイント下がることとなり、平成30年1月現在では全体平均が122.0と前年度同数となった。その結果、目標値の124.1以下となり、目標を達成した。					

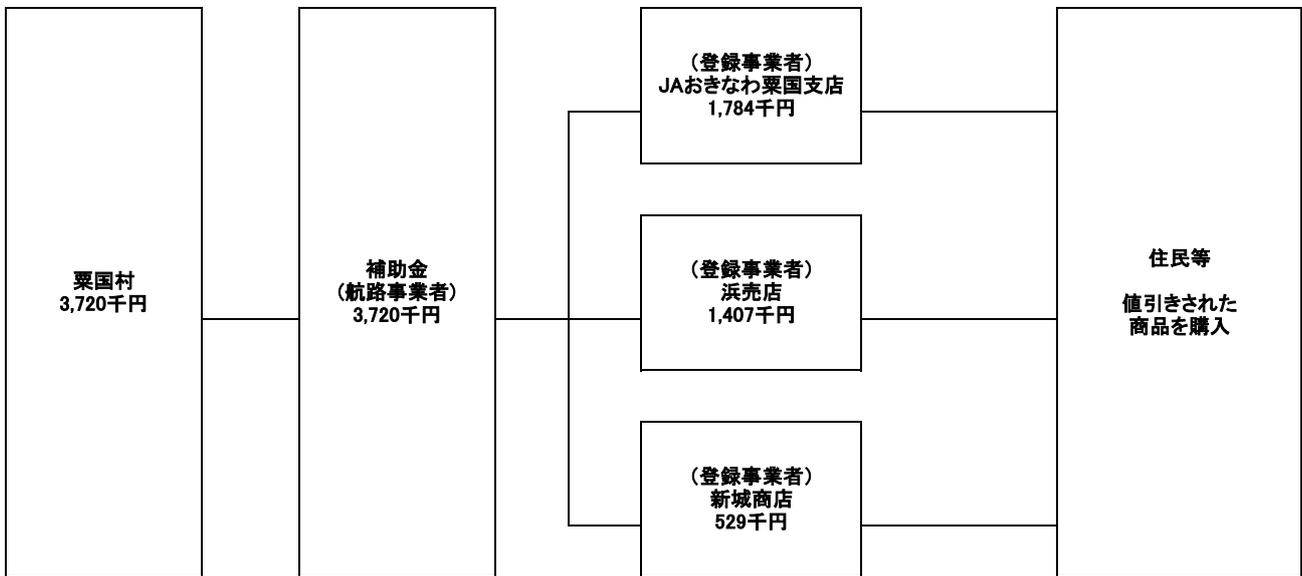
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(価格低減効果の向上) ・本事業の認知度は高いものの、住民から価格低減効果が分かりづらいとの意見がある。	(価格低減効果の向上) ・住民が価格低減効果を実感できるような取り組みを進める必要がある。
	今後の取り組み方針	
(価格低減効果の向上) ・事業開始前に比べて沖縄本島との価格差が縮小しており、事業効果が現れているものの、住民が価格低減効果を実感しにくい状況にあるため、登録事業者において価格低減効果をアピールするための工夫を検討する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,720	3,720	2,975	745	0

**登録事業者
輸送・販売**

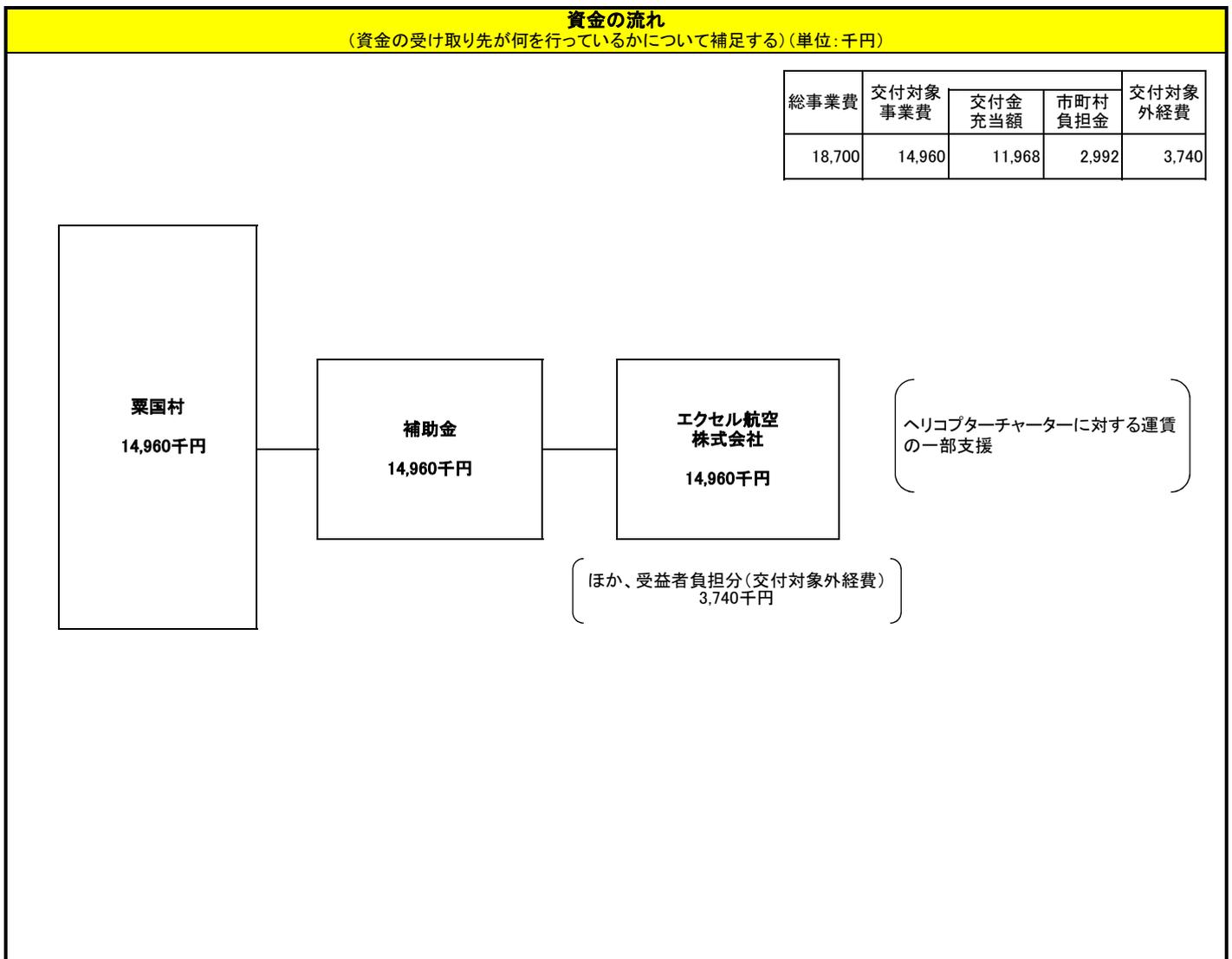
※登録事業者は沖縄県知事へ申請し登録事業者となる



資金の流れ、点検、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、離島食品・日用品輸送費等補助事業補助金交付要綱に基づき、知事により登録を受けた小売業者に補助対象品目の輸送を行う航路事業者に補助を行い、県と村で2分の1補助する形態であり、妥当である。 ○予算規模については、実績による701千円の残はあったが、その他については妥当であった。 ○受益者負担については要綱に基づいて補助対象品目のみの輸送費の補助であるため妥当であったと考える。 ○費目・使途については、要綱に基づき補助しており、精算時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		栗国村				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-①	栗国村交通移動手段安定化対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-9-(1)
事業内容	島民及び来島者の利便性の確保を図るため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	10,713	32,960	36,480	36,480
	(b) 予算現額	13,440	36,958	38,720	18,240	
	(c) 増減額(b-a)	2,727	3,998	2,240	▲ 18,240	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)	13,440	36,958	38,720	14,960	
	B. 執行済額	13,440	36,160	38,720	14,960	
	うち交付金充当額	10,752	28,928	30,976	11,968	
	次年度繰越額	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	97.8%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初は12ヶ月の運航を想定していたが、平成30年6月の墜落事故後の調査等により、約6ヶ月の運休となつたため、利用実績が想定を下回つたため、予算を減額(18,240千円)した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	航空路線の運航日以外の島民及び来島者のチャーターヘリ利用料金支援	目標	(利用料金を支援)	(利用料金を支援)	(利用料金を支援)	(利用料金支援)
		実績	利用料金を支援	利用料金を支援	利用料金を支援	利用料金支援
		目標	()	()	()	()
実績						
達成状況説明	平成30年6月7日に発生した墜落事故の影響により、平成30年6月8日から平成30年11月20日まで運休期間が生じたものの、平成30年4月3日～平成30年6月7日、平成30年11月21日～平成31年3月22日の期間における計187フライト(利用者648人)に対するチャーターヘリ利用料金の支援を行い、目標を達成した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
		ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	目標	() (80%以上)	()	()
		実績	97%			
		目標	() ()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	ヘリタクシーの利用者へアンケートしたところ、「運賃補助を行うことで、利便性が確保されている」との回答が97%となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(ヘリ利用率の向上) ・悪天候によるフェリー欠航時は、周辺離島からもヘリ事業者への予約が殺到するため、チャーターヘリの利用希望者すべてに対応できているわけではない。	(ヘリ利用率の向上) ・チャーターヘリの利用者に対し、悪天候の場合は予約が混み合うことを周知しておくとともに、悪天候時の需要への対応について、ヘリ事業者と相談していく必要がある。
今後の取り組み方針		
(ヘリ利用率の向上) ・悪天候時のチャーターヘリの予約について、利用者へ普段から周知しておくとともに、悪天候時の需要への対応可能性について、ヘリ事業者と検討する。		



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、ヘリ運航事業者はエクセル航空株式会社のみが参入しているのが妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、当初の想定を下回ったため減額し、不用が発生していないことから、事業内容に見合った適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は1フライトにつき8割補助、2割受益者負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		栗国村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	栗国村地域防災計画整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成30~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
事業内容	災害時において村民及び観光客等の安全を確保するため、栗国村地域防災計画の見直し等を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	15,036				
		(b)予算現額	15,036				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	—				
		A.計(b+d)	15,036				
	B.執行済額		9,504				
	うち交付金充当額		7,603				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		63.2%				
予算の状況の説明		当初計画どおり執行を進めたところ、入札残により不用(5,532千円)が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	地域防災計画策定	目標	(策定)	()	()	()	
		実績	策定				
	業務継続計画の作成	目標	(作成)	()	()	()	
		実績	作成				
避難勧告基準の見直し及びマニュアルの作成	目標	(見直し及び作成)	()	()	()		
	実績	見直し及び作成					
達成状況説明	災害時において村民及び観光客等の安全を確保するため、栗国村地域防災計画を策定(改訂)するとともに、業務継続計画の作成、避難勧告基準の見直し及びマニュアルの作成を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
	地域防災計画の作成完了	目標	()	(作成完了)	()	()	()
		実績		作成完了			
	業務継続計画の作成完了	目標	()	(作成完了)	()	()	()
		実績		作成完了			
	避難勧告マニュアルの作成完了	目標	()	(作成完了)	()	()	()
実績			作成完了				
【R2成果目標】整備した地域防災計画、業務継続計画(来島者編)を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施するとともに、村民・関係者等へ周知することにより、計画・マニュアルについて検証する。		目標				(-)	
進捗状況説明	災害時において村民及び観光客等の安全を確保するため、栗国村地域防災計画を作成(改訂)するとともに、業務継続計画の作成、避難勧告マニュアルの作成を完了し、目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(防災会議メンバーの増強について) 粟国村防災会議にて防災会議メンバーに現在粟国村の水道施設を管理している県企業局を入れるよう指示があった。	(防災会議メンバーの増強について) 県企業局へ打診し、防災会議メンバーへの招聘を行う必要がある。
	(要配慮者への対応について) 要配慮者に対する関係機関との情報共有や業務連携を強化する必要がある。	(要配慮者への対応について) 担当課である民生課と提携し、要配慮者リストを早急に作成し、情報共有機関の範囲を確定する必要がある。
	(来島者への対応について) 増加傾向にある観光客や島外ビジネスマン等の来島者に対する対応内容等について補填する必要がある。	(来島者への対応について) 宿泊施設や飲食店並びに観光協会からヒヤリングを行い、来島者に対する危機伝達方法等を調査し、補填内容を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>(防災会議メンバーの増強について) 企業局建設課へ担当者後、参加可否を確認し、委任状を発行する。</p> <p>(要配慮者への対応について) 要配慮者に対し、個人データの共有について許可する旨の承諾書を作成し署名してもらう。</p> <p>(来島者への対応について) 観光協会担当課である経済課と連携しながら情報収集を図り、粟国村地域防災計画の補填を行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	9,504	9,504	7,603	1,901	0
<pre> graph LR A[粟国村 9,504千円] --> B[委託費 9,504千円] B --> C[琉球国際航業 株式会社 9,504千円] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>					

資金の用途の流れ、点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○入札残により、不用額が約37%となった。 ○費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	